

1. 本会の開催日時 2022年4月22日(金) 9:00-10:15
2. 開催形式 Zoomによるオンライン開催
3. 参加者確認  
出席：中川、米倉、関戸、赤堀、元木、本田、今井、新沼、藤沢、高村、秦、小林、岳藤、土居  
欠席：青山、高羽、三澤、小川、寺家
4. 議題  
(ア)2022年 VLBI 懇談会シンポジウム開催について
  - ① 開催場所：東北大学
  - ② 開催時期： (元木さんより) 12月6,7日(火,水)本セッション、  
8日(木)学生セッションの案で進めている。開始時刻などもう少し調整する。
  - ③ 天文台研究集会助成への申請
    - ・1件あたり採択額は100万円以内
    - ・申請期間は4/15-6/24、事務局中川とSOCチェア元木さんを中心に準備を進める。NOUS入力作業の実務を会長ではない事務局中川で出来るのか(アカウソントの関係)など確認を進める。
    - ・採択された場合、旅費の配分はSOCが担当して決める
  - ④ LOC：三澤(chair,東北大)、土屋(東北大)、北(東北工大)
  - ⑤ SOC：元木(chair)、廣田、秦、赤堀、関戸、藤沢
  - ⑥ 内容については元木さんより資料あり。議事録の後に添付。参照ねがいます。
- (イ)IAUシンポへの後援について(小林さん)
  - >IAUシンポ準備状況について今井さんより報告
    - ・2023年3月19日(日) ウェルカムパーティー
    - ・2023年3月20-24日(月-金) 科学セッション
    - ・2023年3月25日(土) 一般向け講演会
    - ・一般向け講演と本セッションの会場は仮押さえ済み
    - ・100万円 国立天文台研究集会の助成 採択決定
    - ・50万円 鹿島財団の助成 採択決定
    - ・ほか2-3件応募する予定
    - ・VLBI懇談会からも学生さんを含めてぜひご参加を
    - ・IAUからの採択申請結果は5月に分かる予定

>VLBI 懇談会からの後援についての議論を行った

V 懇からの支援の具体的な形は、SOC からの依頼をうけたうえで進めることにする。

## 5. その他

報告、情報共有など

### (ア) 国立天文台運営会議の委員決定

V 懇推薦者より米倉さんが台外委員になられた。その他構成員は下記 URL 参照。

<https://www.nao.ac.jp/about-naoj/organization/info.html>

4 月 6 日に副台長から V 懇会長小林さん宛てにメール連絡あり。

### (イ) 国土地理院の機関幹事について

4 月 4 日(月)、V 懇役員によるメール会議にて、国土地理院の新しい機関幹事として本田昌樹さんの承認について確認。承認をいただき、速やかに本田さん及び前機関幹事の湯通堂さんにお伝えしました。本田さんよりご挨拶いただく。

### (ウ) 教科書 WG 関連 (藤沢さん)

2021 年発足の活動。教科書の大まかな構成は決まりつつあるが著者などで検討中。

(VLBI 懇談会歴史教科書 WG はすこしお休み中。)

### (エ) SKA の現状 (小林さん)

小林さんから報告を頂く。資料は本議事録の後半に添付。参照ねがいます。

### (オ) JVN 外部レビュー (藤沢さん)

国内 5 大学+国立天文台の活動として定期的に受ける外部評価としての位置づけ。最終評価資料は 5 月に出る予定。その後 VLBI 懇談会でも共有の予定。

### (カ) 年度替わりの入退会や ML 扱いについて (事務局中川)

卒業や退職による退会処理などを進めた。ML については関戸さんと中川で適宜対応中。新しい学生さんの入会など手続きあればご連絡ください。

### (キ) 宇電懇と V 懇のあり方について意見交換 (藤沢さん)

・宇電懇において V 懇の位置づけが話題に挙がったとのこと。これを受けて意見交換。

・宇電懇の場においては、委員長藤沢さんより「V 懇を宇電懇と一本化する、という論調もあるが、性格や構成員の違いなどもあり単純なことではない。」という旨の発言がなされている。

・V 懇は天文と測地の情報交換の場としての役割もある。

・過去には JNET, VSOP, VERA, VSOP2 などの研究計画推進に向けた議論を行ったことがある。

・国内に散るアンテナの活用について VLBI 懇談会は将来計画と絡めた議論の場としてあるべきではないか。

・多くの人が宇電懇と重複する構成員である中、V 懇として何のために集まるのかを考えることが大切。

### (ク) 天文台の各種委員の推薦はどうなっているのか？

・プロジェクト評価委員会、VLBI 科学諮問委員会、研究交流委員会などの委員推薦について、例年ならば今頃を書くコミュニティに対する推薦の打診があったはずだが、2022 年度についてはどのようになっているのか。

- ・ V 懇に対する天文台からの打診の有無に小林さんに尋ねる。
- ・ 宇電懇委員長の藤沢さんにはまだ打診は来ていないとのこと。

→その後、4月22日(金)17時頃、VLBI懇談会事務局のメール宛てに委員推薦のお願いが届いていたことが分かった。※

(ケ)各機関の報告（必要に応じて）

- ・ 岐阜大学機関報告（4月19日高羽さんよりメール連絡あり、中川が代理で報告）  
新助教の着任（国立天文台より佐野栄俊先生）  
新年度の学生は、M2：3名、M1：4名、4年：5名
- ・ 山口大学機関報告（新沼さんより）  
山口干渉計、Passive メーザーを使った VLBI 観測の準備など。
- ・ NICT 関戸さん、国土地理院本田さんよりアナウンス  
2024年3月につくばにて IVS 総会が開催される。国土地理院がホスト。

※文中の青文字は役員会の場で議論された内容ではない。議事録作成の際に追記した。  
（議事録作成者 中川メモ）

以上